

## 第79回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成24年 7月～ 9月期

---

平成24年7月～9月期の景況感は、東日本大震災の復興需要による公共投資の増加による内需の下支えが継続しているものの、欧州経済の停滞や中国景気の低下による輸出停滞、長引く円高、エコカー補助金の終了による自動車販売の大幅な減少等により、景気の低下がみられた。また、燃料価格は未だ高止まりしており、燃料コスト増の負担が大きい状況にある。

このような中、トラック運送業界の景況感の判断指数は▲51となり、前回（▲44）より7ポイント低下し、やや悪化した。

今後は、欧州問題を背景に、景気の減速が中国など新興国に波及するなど、世界景気の回復の遅れが懸念されており、景況感改善の基盤は未だ脆弱である。業界の景況感の判断指標は、今回から12ポイント悪化の▲63が見込まれている。

---

平成24年 11月 19日

公益社団法人 全日本トラック協会

## 1. 今回（平成24年7月～9月期）の状況

### ①概況

平成24年7～9月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は6%（前回10%）、「悪化」とした事業者は50%（前回47%）で、判断指標は▲51となり、前回（▲44）より7ポイント悪化した。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が41%、「増加」とする事業者が10%で、判断指標は▲35となり、前回（▲14）から21ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が43%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲33となり、前回（▲19）よりも14ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が43%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲37となり、前回（▲10）から27ポイント悪化した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が40%、「増加」とする事業者が25%で、判断指標は▲16となり、前回（▲17）とほぼ横ばいであった。営業収入は「減少」とする事業者が42%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲23となり、前回（▲28）から5ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が41%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲24となり、前回（▲24）と横ばいであった。

### ③一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が32%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲17となり、前回（▲23）から6ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が38%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲24となり、前回（▲27）から3ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が41%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲29となり、前回（▲38）から9ポイント改善した。

### ④運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲10（前回▲10）と横ばい、宅配以外の特積貨物は▲14（前回▲10）と4ポイントの悪化、一般貨物は▲20（前回▲22）とほぼ横ばいとなった。

### ⑤実働率等

実働率は▲19（前回▲20）、実車率は▲19（前回▲16）となり、僅かに悪化している。雇用状況（人手の過不足）は+17（前回+16）と依然として不足感がある。採用状況は▲9（前回▲5）で指標はやや悪化し、所定外労働時間は▲11（前回▲11）で指標は横ばいであった。

保有車両台数は▲10（前回▲6）で指標は僅かに悪化、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲17（前回▲12）で指標はやや下がっている。

## ⑥地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北は相対的に水準が良い。前回から水準を上げているのは近畿、北陸信越、北海道である。他方、中部、東北、関東は、前回より水準を下げている。

事業者の規模別では、規模が小さくなるほど景況感の水準が低くなる傾向にある。

主な取扱い品目別では、前回から水準を下げているのは機械関連貨物、その他貨物であり、消費関連貨物もやや水準を下げている。建設関連貨物の水準は、横ばいである。

## 2. 今後（平成24年10月～12月期）の見通し

### ①概況

平成24年10～12月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲63で、今回から12ポイント下げる見込み。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量はやや悪化、営業収入は横ばいの見込みであるが、営業利益は悪化する見込み。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量は悪化する見込み、営業収入も悪化する見込み、営業利益も悪化する見込みである。

### ③一般貨物

一般貨物は、輸送数量は悪化する見込み、営業収入も悪化する見込み、営業利益も悪化する見込みである。

### ④運賃水準

宅配貨物は横ばいの見込み、宅配以外の特積貨物、一般貨物は僅かに悪化の見込み。

### ⑤実働率等

実働率はやや水準を下げる見込み、実車率は僅かに水準を下げる見込み。雇用状況（人手の過不足）はほぼ横ばい、採用状況は僅かに水準を下げる見込み、所定外労働時間も僅かに水準を下げる見込みである。

保有車両台数はほぼ横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）もほぼ横ばいの見込み。経常損益は、やや水準を下げる見込み。

## ⑥地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、北海道は水準を上げ、中部、関東、東北は水準を下げる見込み。

事業者の規模別では、いずれも水準を下げる見込みであるが、大規模事業者が、小規模事業者や中規模事業者に比べて水準を下げる見込み。

主な取扱い品目別では、建設関連貨物が、水準を上げる見込み。

### 3. 特積貨物の概況

項目		概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	21	10	64	21	3	(-14)
		今回	0	10	49	37	4	(-35)
		見通	0	10	45	41	4	(-39)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より21ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では規模にかかわらず、前回から悪化しており、特に小規模事業者が悪化している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
配	営業収入 (売上高)	前回	2	9	62	24	3	(-19)
		今回	0	14	43	39	4	(-33)
		見通	0	12	45	39	4	(-35)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より14ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では、規模に関わらず前回から悪化しており、水準も低い。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
貨	営業利益	前回	3	9	66	19	3	(-10)
		今回	4	10	43	31	12	(-37)
		見通	4	8	33	47	8	(-47)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より27ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では規模にかかわらず、前回から悪化しており、特に大規模事業者が悪化している。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>						
物	運賃・料金の水準	前回	0	3	86	7	3	(-10)
		今回	0	4	82	14	0	(-10)
		見通	0	6	80	14	0	(-8)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回からほぼ横ばいである。</li> <li>・規模別では、中規模事業者で前回から改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						

#### 【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第78回調査は、平成24年10月15日に、WEBモニターに対して調査開始。平成24年11月16日回収分までを集計。

	特積	一般	回答事業者 全体
回収数	98	591	612

※一部回答事業者の重複あり

項 目		概 況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅配	輸送数量	前回	2	15	49	30	3	(-17)
		今回	2	23	35	36	4	(-16)
		見通	0	10	37	51	2	(-46)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント改善した。</li> <li>・規模別では小規模事業者は前回からは改善しているが、中・大規模事業者は横ばいである。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>						
以外	営業収入 (売上高)	前回	2	11	49	33	5	(-28)
		今回	2	19	36	37	5	(-23)
		見通	0	7	43	46	4	(-46)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より5ポイント改善した。</li> <li>・規模別では小・大規模事業者は前回からは改善しているが、中規模事業者はやや悪化している。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>						
の特	営業利益	前回	2	11	51	33	3	(-24)
		今回	2	20	36	33	8	(-24)
		見通	0	11	40	43	6	(-45)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回からほぼ横ばいである。</li> <li>・規模別では小・中規模事業者は前回からは悪化しているが、大規模事業者では、改善している。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>						
積貨	運賃・料金の水準	前回	0	4	83	12	1	(-10)
		今回	2	4	71	23	0	(-14)
		見通	2	2	71	24	0	(-17)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より4ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では中規模事業者は前回から改善しているが、小・大規模事業者では、悪化している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						

凡例

	大幅に増加・上昇・好転・人手不足 +2点 やや増加・上昇・好転・人手不足 +1点 横ばい 0点 やや減少・低下・悪化・人手過剰 -1点 大幅に減少・低下・悪化・人手過剰 -2点	(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。  (注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。
--	--	--

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1~+2、横ばい0、減少・悪化-1~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

$$A \text{ (設問Aの回答者数)} = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 \text{ (設問Aの選択肢1~5の回答数の和)}$$

$$\text{指標} = \{ (+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5) \} \div A \times 100$$

#### 4. 一般貨物の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
輸送数量 (全体)	前回	3	16	44	30	7	(-23)
	今回	1	20	47	25	7	(-17)
	見通	1	13	48	32	6	(-30)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より6ポイント改善した。</li> <li>・地域別では近畿、中国、四国が前回から改善、東北は悪化。品目別では建設関連が改善しているが水準は低い。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>						
営業収入 (売上高)	前回	3	17	39	33	8	(-27)
	今回	1	20	41	30	8	(-24)
	見通	0	14	43	37	6	(-35)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント改善した。</li> <li>・地域別では近畿、中国が改善し東北、北海道、関東が悪化。品目別では建設関連が改善しているが水準は低い。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>						
営業利益	前回	2	12	40	36	10	(-38)
	今回	1	16	42	33	8	(-29)
	見通	1	11	44	38	7	(-39)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より9ポイント改善した。</li> <li>・地域別では近畿、北陸信越が改善し、東北が悪化。品目別ではその他品目の水準が低い。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>						
運賃・料金の水準	前回	0	2	77	18	3	(-22)
	今回	0	2	78	16	3	(-20)
	見通	0	4	72	22	2	(-23)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より2ポイント改善した。</li> <li>・地域別では近畿、中国、四国が前回から改善し、北陸信越、九州が悪化。品目別では建設関連が改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						

## 5. 共通の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
実働率	前回	2	13	54	27	5	(-20)
	今回	1	14	55	27	3	(-19)
	見通	0	11	57	28	4	(-24)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント改善した。</li> <li>・地域別では四国、九州、北陸信越が前回から改善している。品目別では建設関連が改善している。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>						
実車率	前回	2	13	58	24	4	(-16)
	今回	1	13	57	25	4	(-19)
	見通	0	10	60	25	4	(-22)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では四国が改善し、中部、東北が悪化している。品目別では建設関連が悪化し、水準も低い。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
雇用状況 (人手の過不足)	前回	4	19	68	9	1	(16)
	今回	3	21	66	8	1	(17)
	見通	5	20	62	12	2	(15)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント上昇した(不足感が高くなった)。</li> <li>・地域別では東北、四国の水準が高く、不足感がある。品目別では消費関連の水準が高い。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
採用状況	前回	1	10	75	11	3	(-5)
	今回	1	8	76	10	4	(-9)
	見通	1	7	76	11	5	(-13)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より4ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では近畿、中部、中国で前回から改善している。規模別、品目別の全てでほぼ前年並みとなっている。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
所定外労働時間	前回	1	9	70	18	2	(-11)
	今回	1	9	70	18	2	(-11)
	見通	0	10	69	17	4	(-14)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回からほぼ横ばいである。</li> <li>・地域別、規模別、品目別のすべてでほぼ前年並みとなっている。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						

項目	概況	
	0%	20% 40% 60% 80% 100%
保有車両台数	前回	0.9 75 14 1 (-6)
	今回	1.7 75 14 2 (-10)
	見通	0.6 77 14 2 (-11)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より4ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では東北が前回より減少、北陸信越では増加している。規模別、品目別の全てでほぼ前年並み。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>	
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回	2.11 65 17 5 (-12)
	今回	1.8 70 16 6 (-17)
	見通	1.8 68 17 6 (-19)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より5ポイント減少した。</li> <li>・地域別では四国、北海道、北陸信越の水準が低い。規模別では小規模事業者の水準がやや低い。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>	
経常損益	前回	2.14 45 32 7 (-28)
	今回	1.16 42 32 9 (-32)
	見通	1.12 42 38 8 (-41)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より4ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北海道、北陸信越が前回から改善している。品目別には、建設関連が改善している。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>	
業界の景況感	前回	1.9 42 40 7 (-44)
	今回	0.6 44 42 8 (-51)
	見通	0.6 35 50 9 (-63)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より7ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では近畿、北陸信越が前回から改善している。品目別には、機械関連、その他が悪化している。</li> <li>・今後は水準を下げる見込み。</li> </ul>	



## 6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																								
①地域（注4）	<p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年 4～6月期前回</th> <th>H24年 7～9月期今回</th> <th>H24年 10～12月期見通</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>東 北</td> <td>東 北</td> <td>北 海 道</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>中 部</td> <td>北 海 道</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>北 海 道</td> <td>北 陸 信 越</td> <td>北 陸 信 越</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>中 国</td> <td>中 部</td> <td>近 畿</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>九 州</td> <td>近 畿</td> <td>九 州</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>関 東</td> <td>中 国</td> <td>中 国</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>北 陸 信 越</td> <td>九 州</td> <td>四 国</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>近 畿</td> <td>関 東</td> <td>関 東</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>四 国</td> <td>四 国</td> <td>中 部</td> </tr> </tbody> </table>		H24年 4～6月期前回	H24年 7～9月期今回	H24年 10～12月期見通	1位	東 北	東 北	北 海 道	2位	中 部	北 海 道	東 北	3位	北 海 道	北 陸 信 越	北 陸 信 越	4位	中 国	中 部	近 畿	5位	九 州	近 畿	九 州	6位	関 東	中 国	中 国	7位	北 陸 信 越	九 州	四 国	8位	近 畿	関 東	関 東	9位	四 国	四 国	中 部
	H24年 4～6月期前回	H24年 7～9月期今回	H24年 10～12月期見通																																						
1位	東 北	東 北	北 海 道																																						
2位	中 部	北 海 道	東 北																																						
3位	北 海 道	北 陸 信 越	北 陸 信 越																																						
4位	中 国	中 部	近 畿																																						
5位	九 州	近 畿	九 州																																						
6位	関 東	中 国	中 国																																						
7位	北 陸 信 越	九 州	四 国																																						
8位	近 畿	関 東	関 東																																						
9位	四 国	四 国	中 部																																						
②規模（注5）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界の景況感は、規模が小さくなるほど水準が低い傾向にある。</li> </ul>																																								
③品目（注6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を僅かに下げた。一般貨物の輸送量としてみると、特殊品の水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。</li> <li>・建設関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準は、ほぼ横ばいである。一般貨物の輸送数量としてみると、鉱産品の水準が相対的に低い。今後の水準をやや上げる見込み。</li> <li>・機械関連を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、電気機械、その他機械は水準が相対的に低い。今後は水準を下げる見込み。</li> <li>・その他貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、石炭製品、金属、繊維工業品、その他化学工業品の水準が相対的に低い。今後は水準を下げる見込み。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>業界の景況感(品目別、前回からの指標の増減)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目別</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費関連貨物</td> <td>-5</td> </tr> <tr> <td>建設関連貨物</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>機械関連貨物</td> <td>-11</td> </tr> <tr> <td>その他貨物</td> <td>-11</td> </tr> </tbody> </table> </div>	品目別	増減	消費関連貨物	-5	建設関連貨物	1	機械関連貨物	-11	その他貨物	-11																														
品目別	増減																																								
消費関連貨物	-5																																								
建設関連貨物	1																																								
機械関連貨物	-11																																								
その他貨物	-11																																								

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覽表

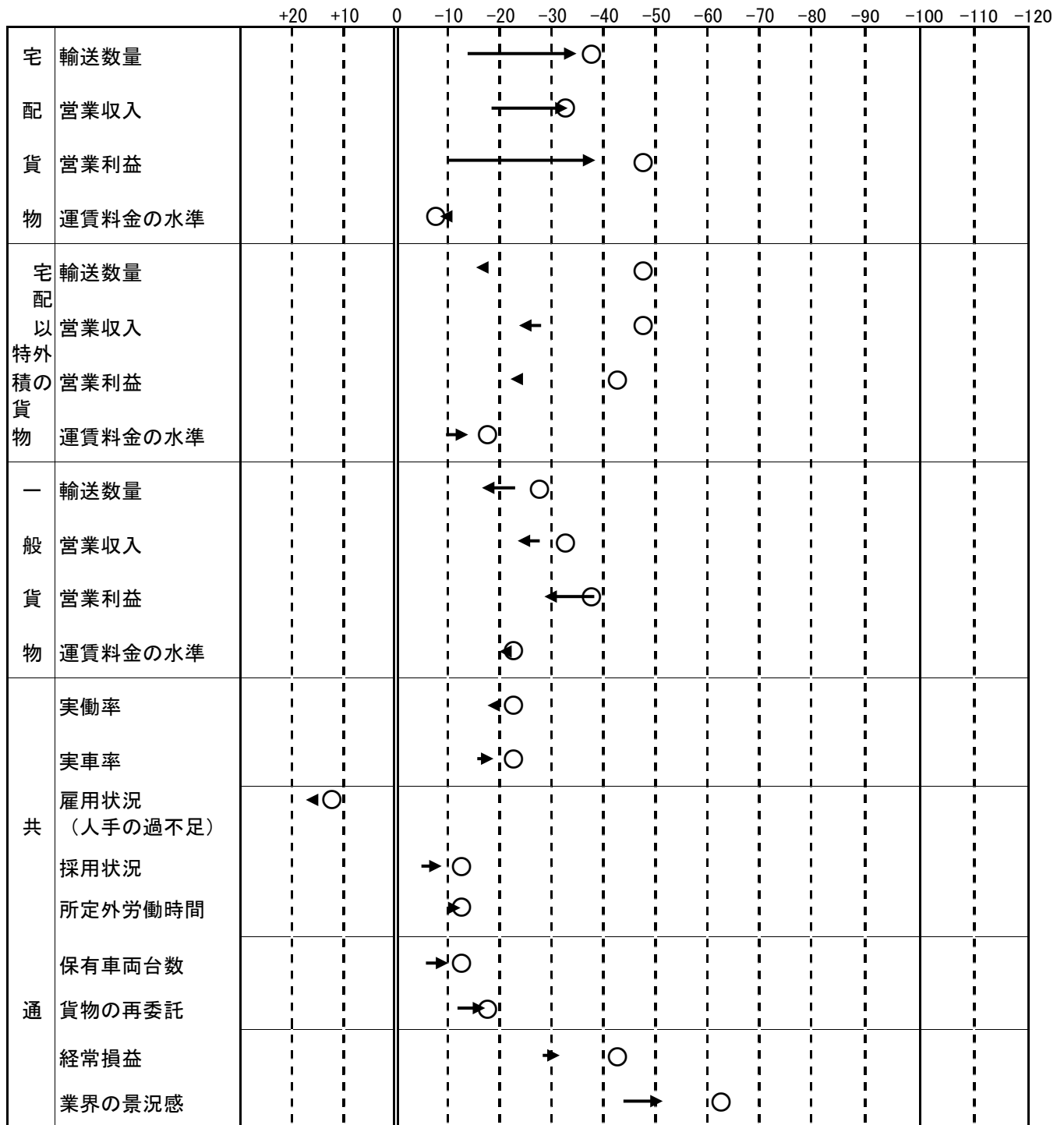
		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全体		→	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
地域	北海道	→	↘	↘	→	→	→	↘	↘	→	→	→	→	→	↘	→
	東北	↗	↗	↗	→	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗	→	↗	→
	北陸信越	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	↘
	関東	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中部	→	↘	↘	→	↘	↓	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	近畿	↘	→	↘	→	→	→	↘	→	↘	→	→	→	↘	→	→
	中国	↗	↓	↓	→	→	↘	↘	→	↘	→	→	→	→	↘	↘
	四国	→	↓	↓	↘	↓	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘	↘
	九州	→	→	→	→	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	↘
事業者規模	小規模事業者	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中規模事業者	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	→	↘	→	→	→	→	→	↘
	大規模事業者	→	→	↘	↘	→	↘	→	→	↘	→	→	→	→	→	↘
取り扱い品目	消費関連貨物	→	↘	→	↘	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→	→	→
	建設関連貨物	→	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	↘
	機械関連貨物	→	→	↘	→	↗	↓	→	→	↘	→	→	→	→	→	↘
	その他貨物	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘

(注7) 各項目は、関連する判断指標（前年同期に対する水準）から平均値を算出。  
 貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

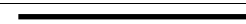


凡例 ・ 各欄は、左：前回（4-6月） 中央：今回（7-9月） 右：見通（10-12月）  
 ・ 矢印と判断指数の対応

判断指数	… -100 … -60 … -20 … +20 … +60 … +100 …
矢印	⏚ ↓ ↘ → ↗ ↑ ⏚

8. 業況判断指標の前回調査（平成24年4月～6月期）からの変化

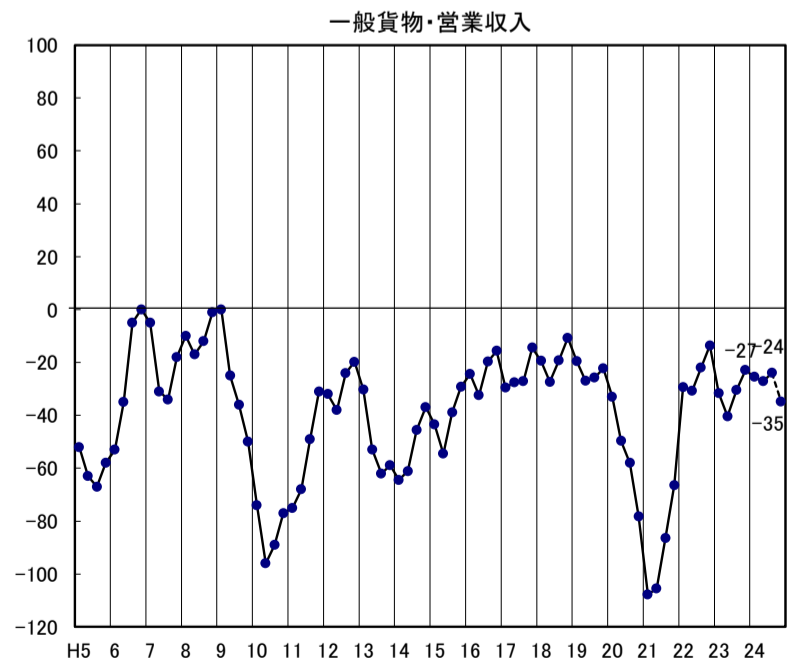
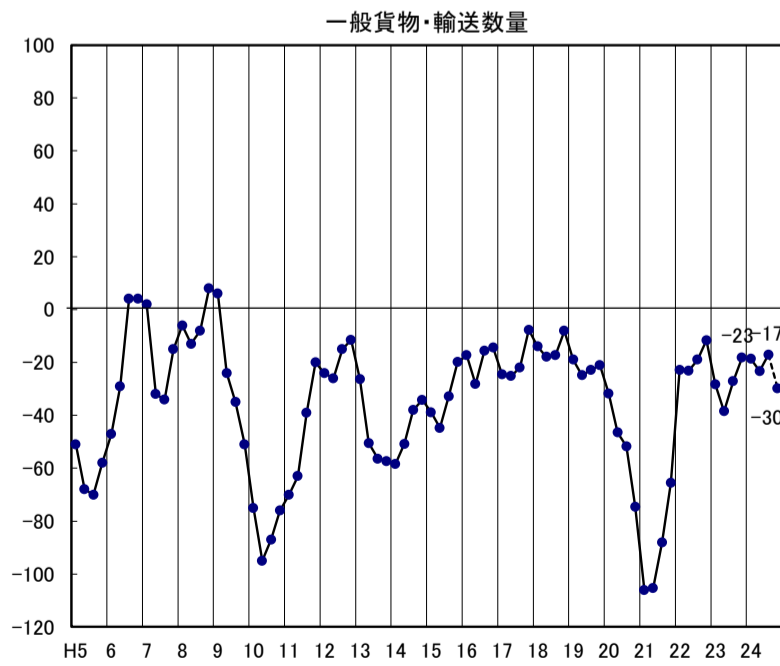
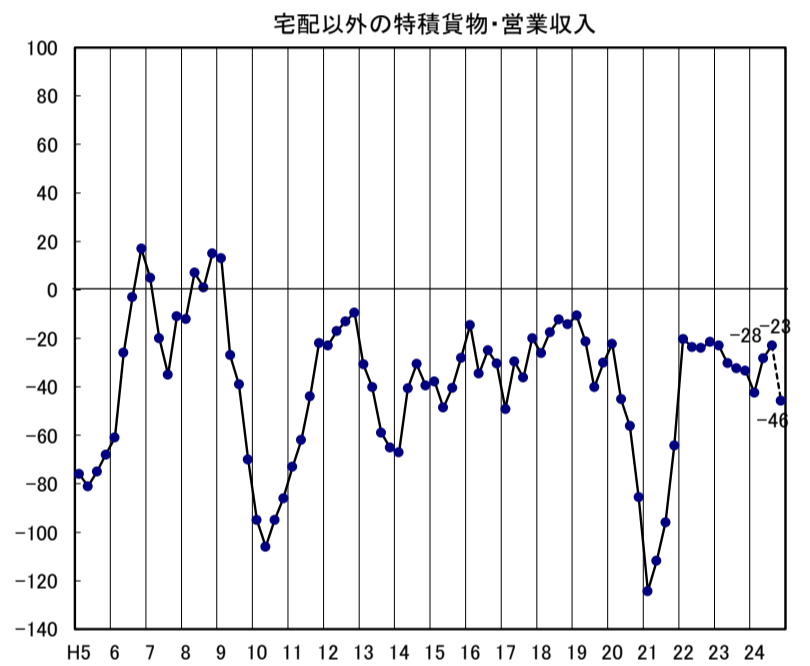
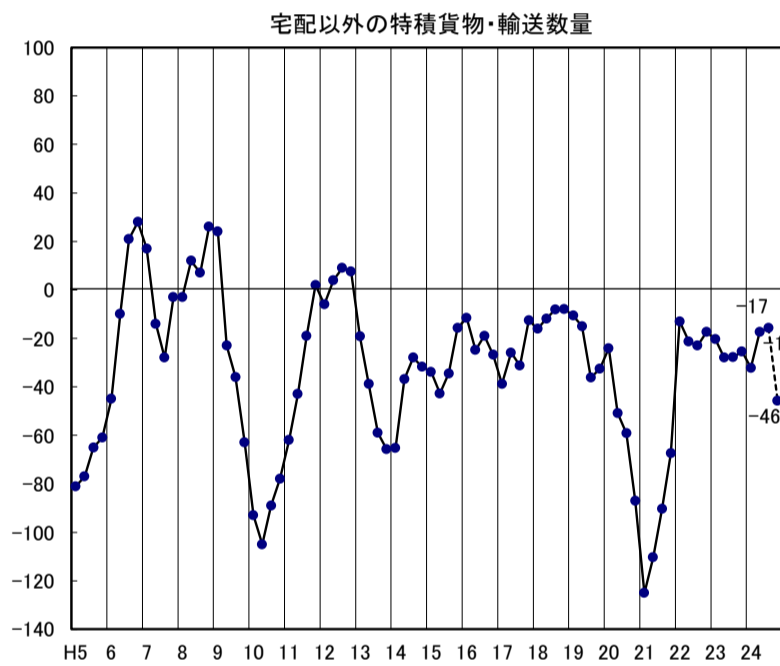
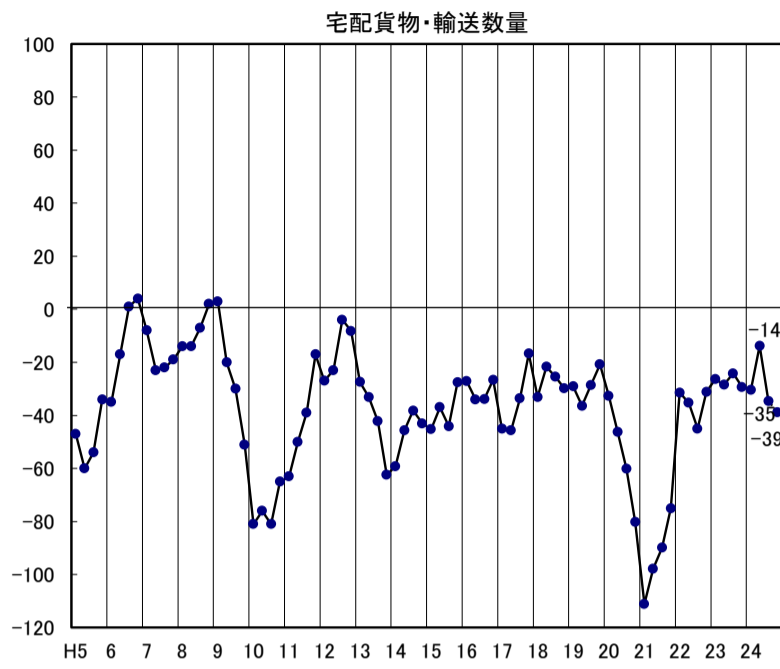


凡例

 矢元：4-6月期の実績  
 矢先：7-9月期の実績  
 白丸：10-12月期の見通

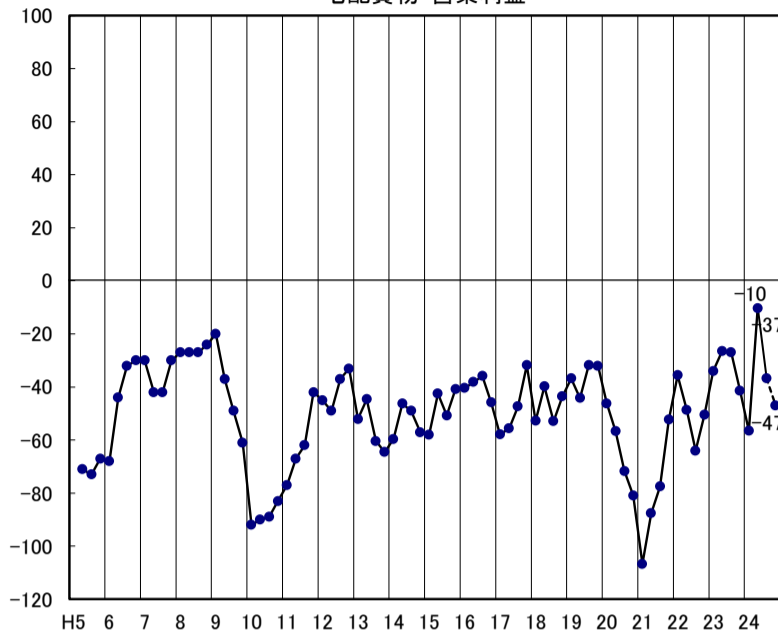
## 9. 業況判断指標の推移

平成5年第1四半期～平成24年第3四半期実績、平成24年第4四半期見通し

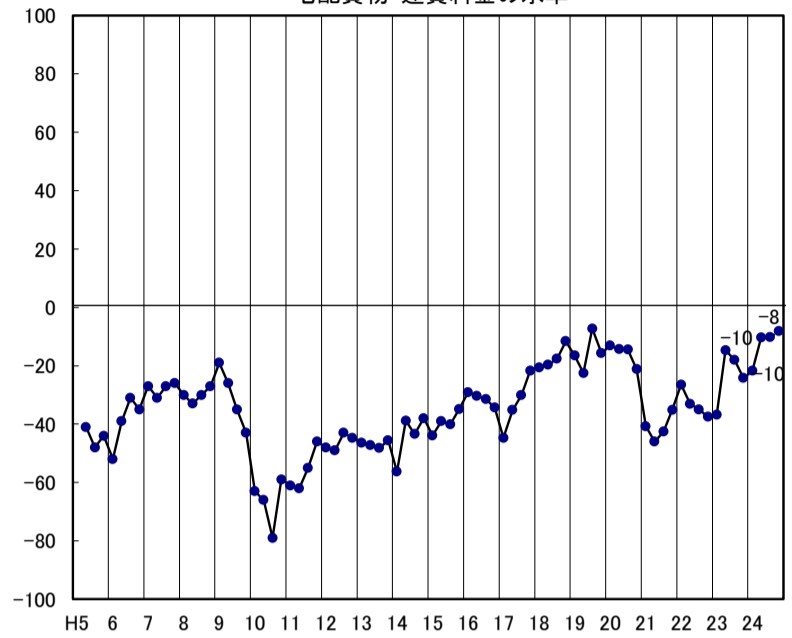


平成5年第1四半期～平成24年第3四半期実績、平成24年第4四半期見通し

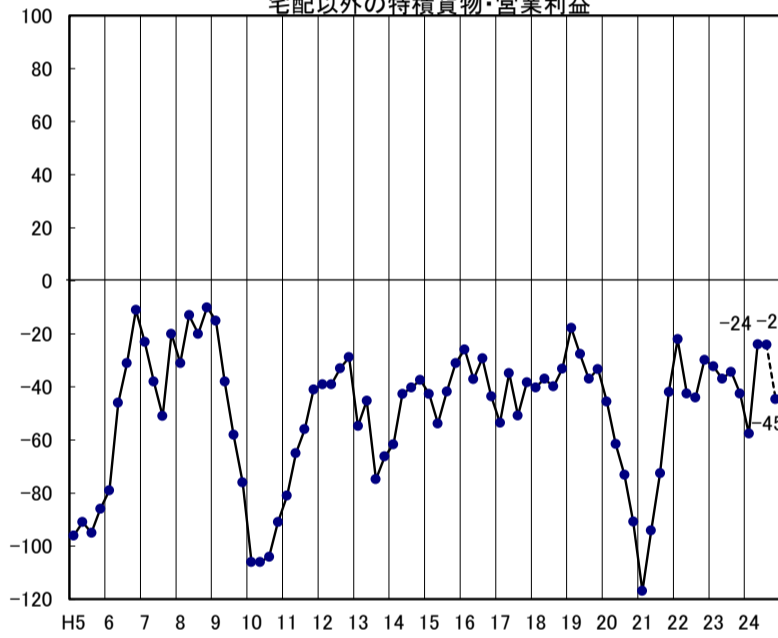
宅配貨物・営業利益



宅配貨物・運賃料金の水準



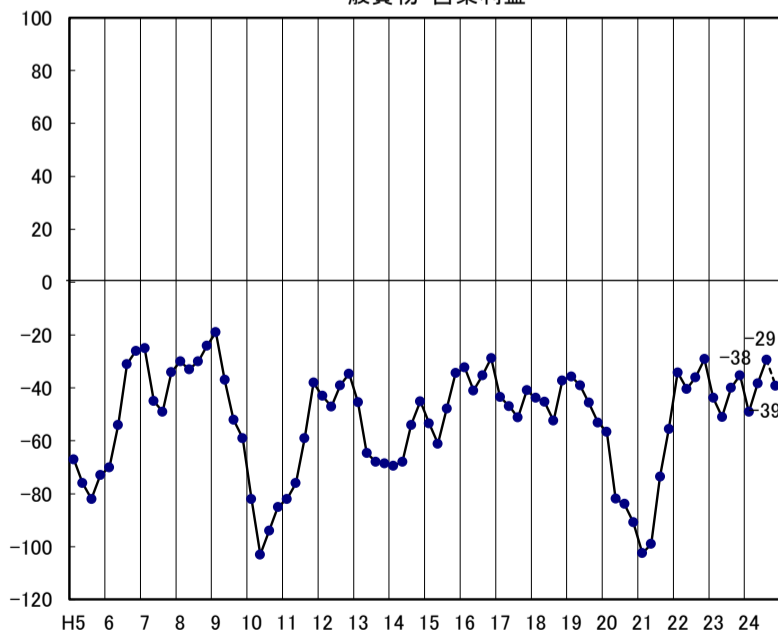
宅配以外の特積貨物・営業利益



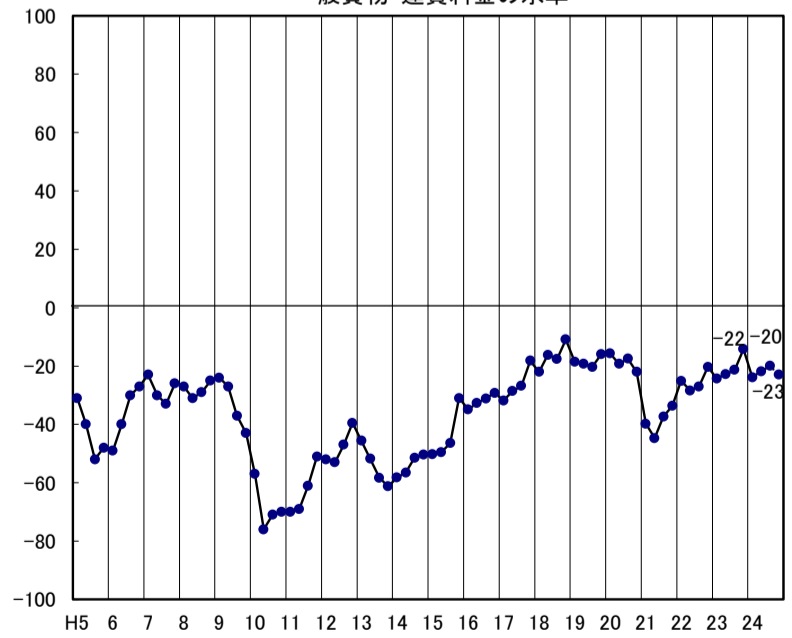
宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準



一般貨物・営業利益

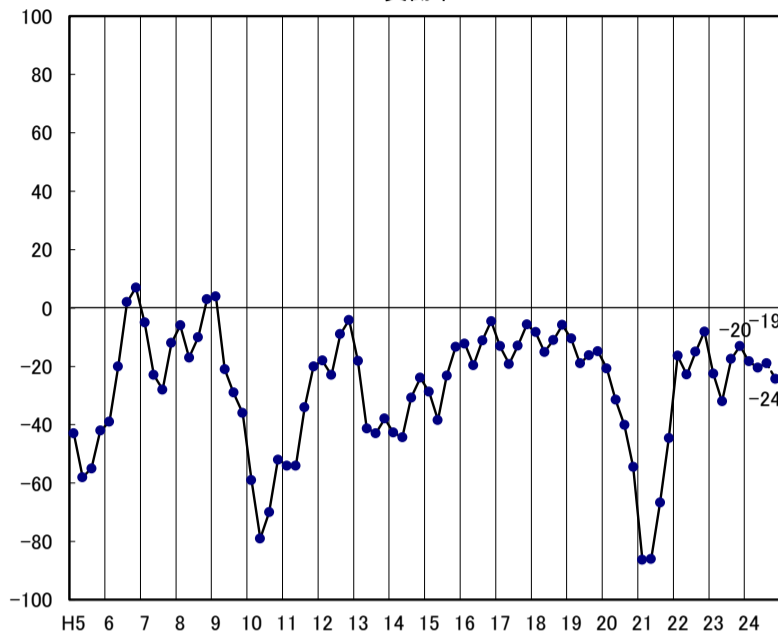


一般貨物・運賃料金の水準

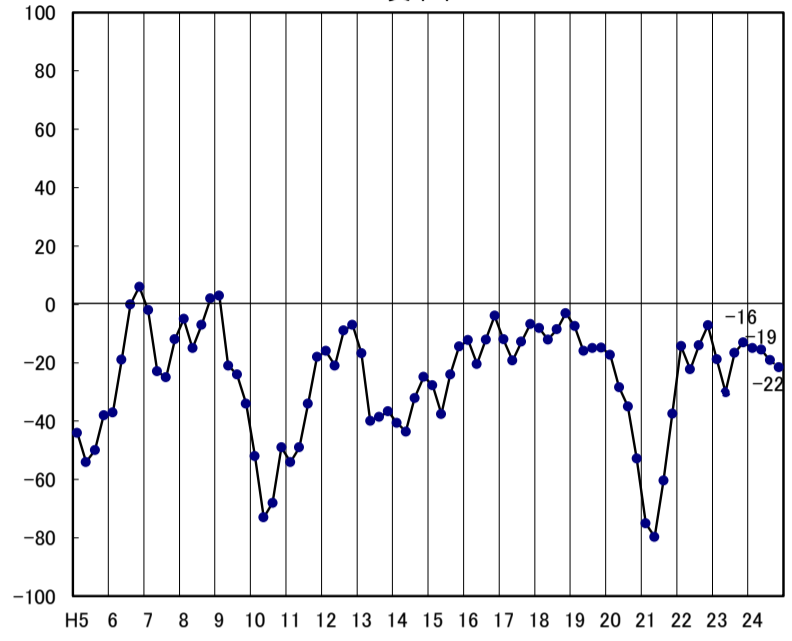


平成5年第1四半期～平成24年第3四半期実績、平成24年第4四半期見通し

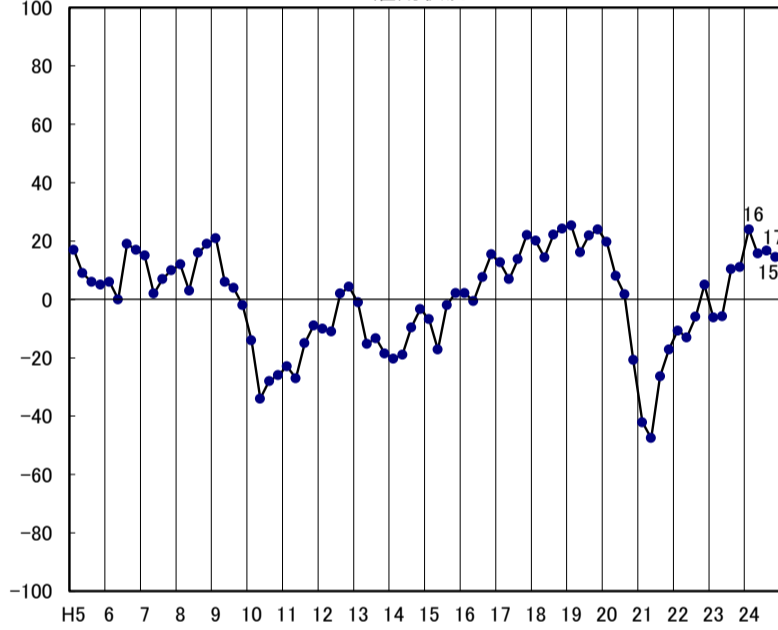
実働率



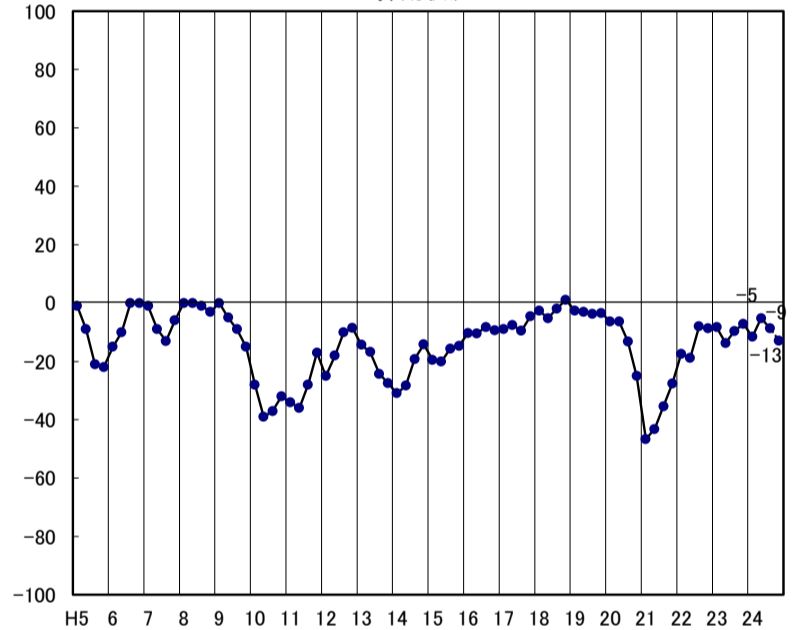
実車率



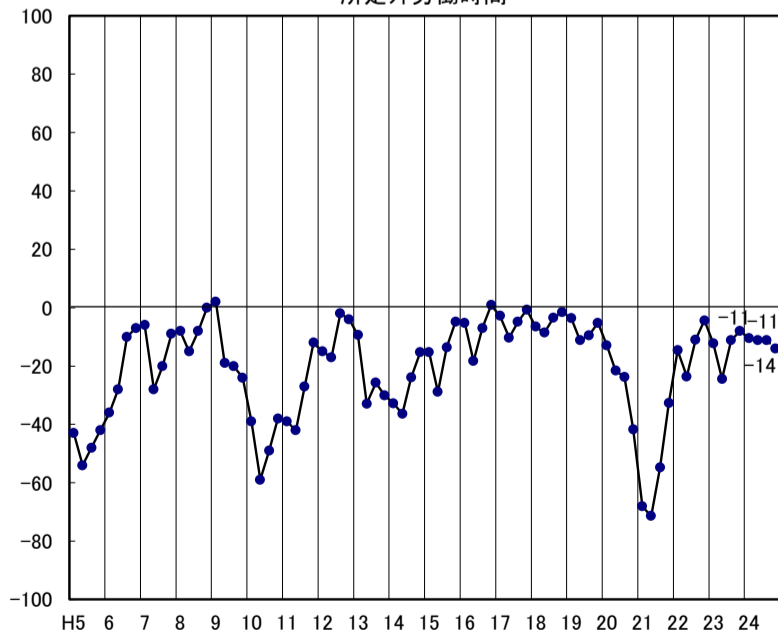
雇用状況



採用状況

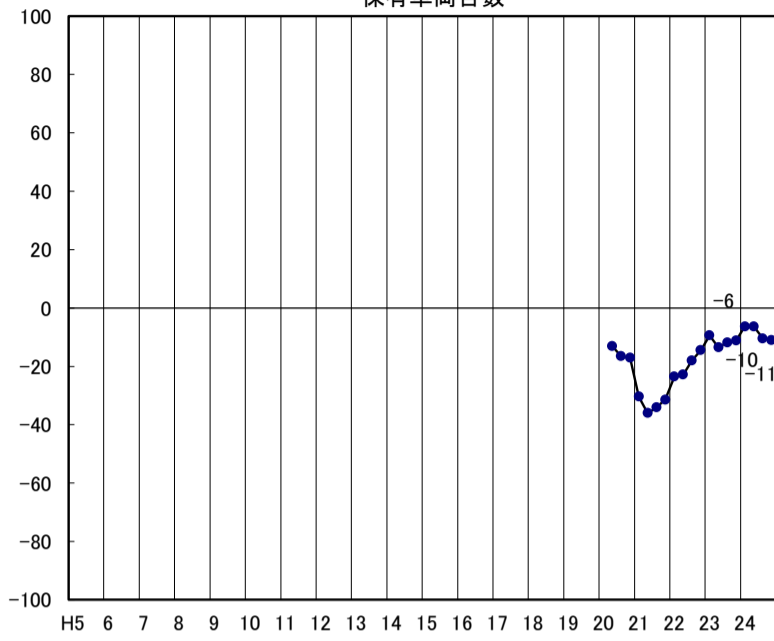


所定外労働時間

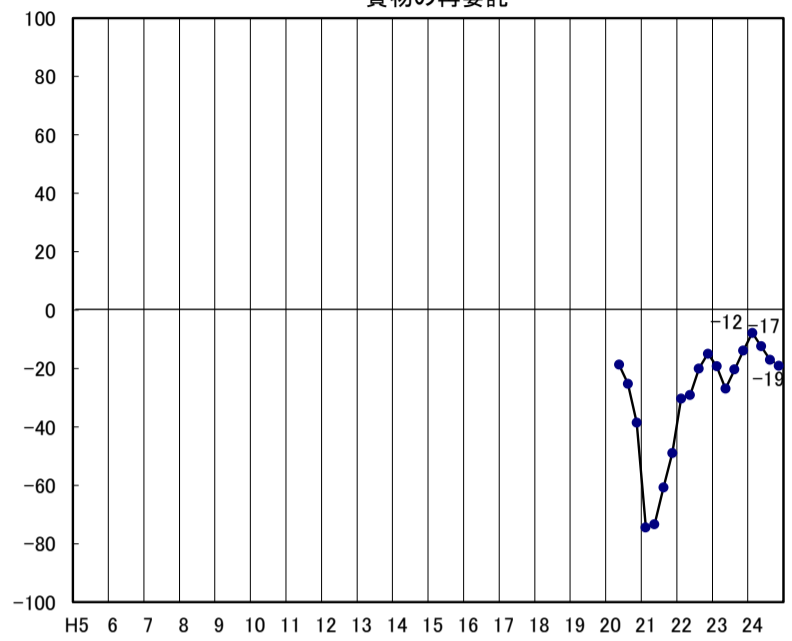


平成5年第1四半期～平成24年第3四半期実績、平成24年第4四半期見通し

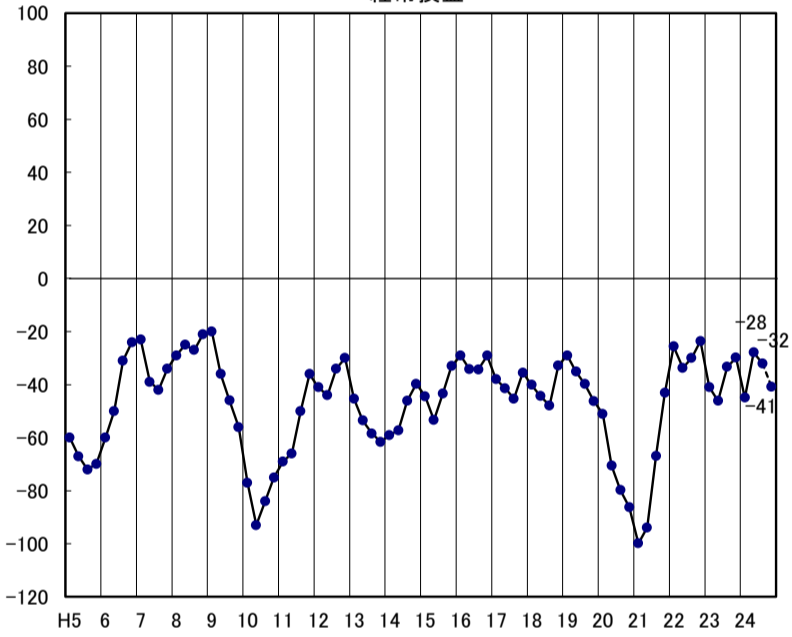
保有車両台数



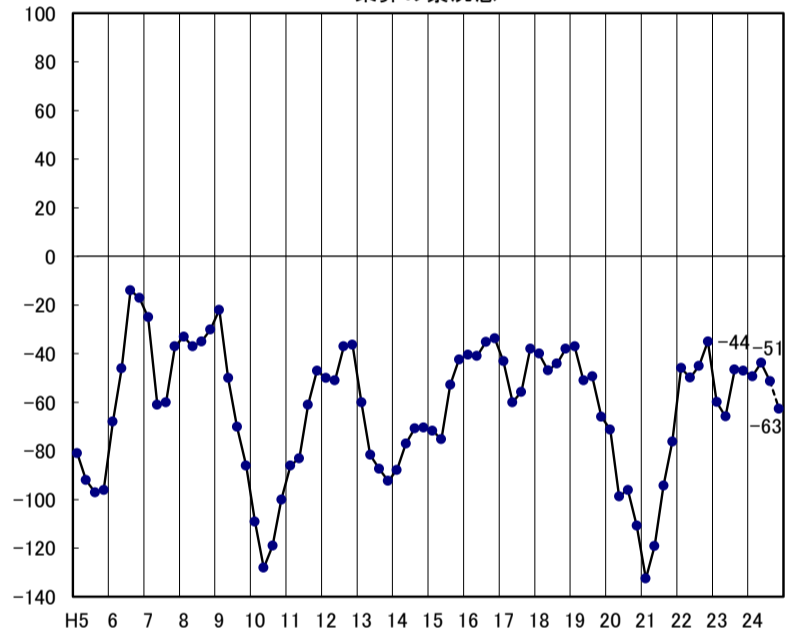
貨物の再委託



経常損益

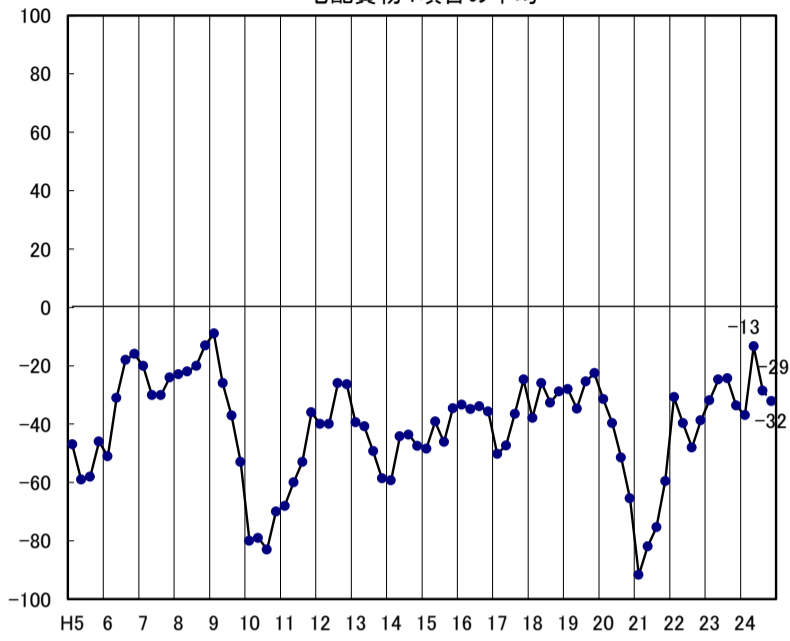


業界の景況感

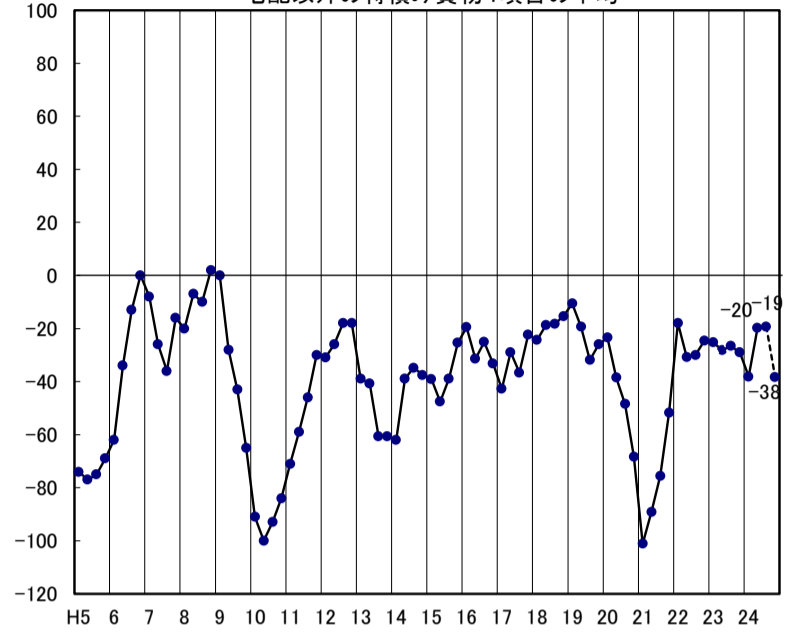


平成5年第1四半期～平成24年第3四半期実績、平成24年第4四半期見通し

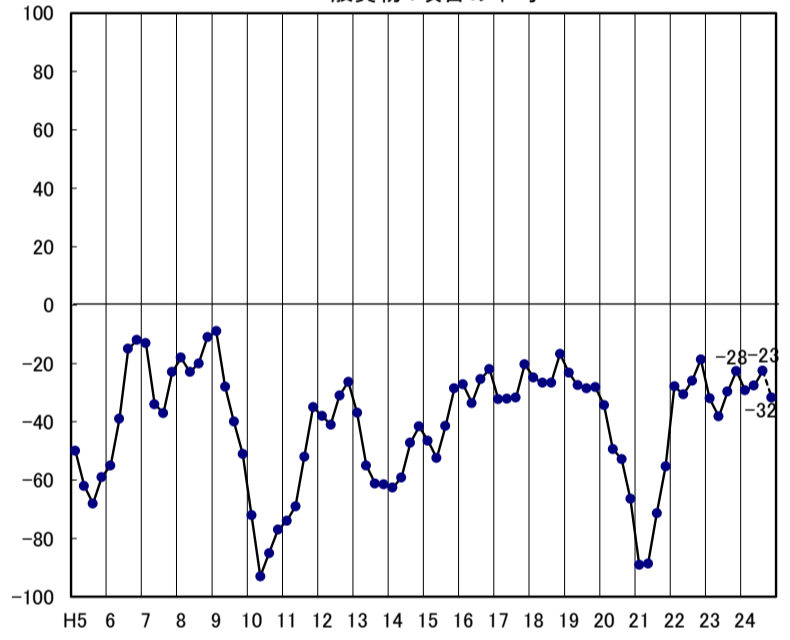
宅配貨物4項目の平均



宅配以外の特積み貨物4項目の平均



一般貨物4項目の平均



全項目の平均

